

青井記念館美術館

# はぐくみ会だより

第 10 号

平成12年11月1日



所蔵作品紹介

(9)

「 狛 」 置物 金工

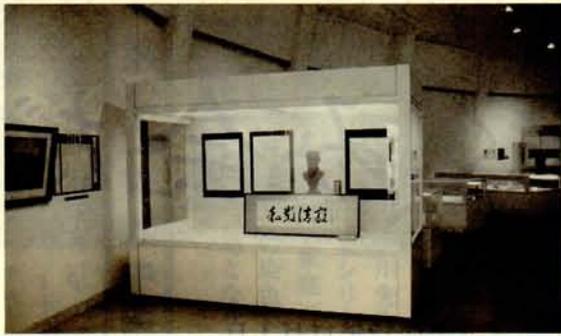
関 義 平

縦 22cm 横 11cm 奥行 28cm

特別展

初代校長 納富介次郎と  
二人の校長心得展  
が開催される

富山県工芸学校 校長心得 村上九郎作 先生  
香川県工芸学校 校長心得 和田重太郎 先生  
会期 五月十七日(水)～七月九日(日)



会場風景

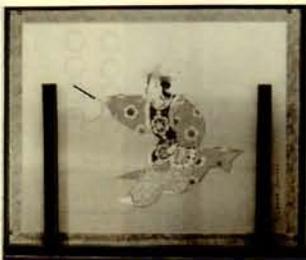
高岡市美術館では六月十日(土)より七月九日(日)まで「納富介次郎と四つの工芸・工業高校」展が開催されました。  
この時期にあわせて本校青井記念館美術館において特別展を企画。初代校長と共に、本校の創立期に尽力された二人の石川県出身の先生を加えて三人の先生を紹介しました。  
会場には納富先生の軸装二本、村上先生の獅子頭三体、和田先生の軸装、巻物、衝立、陶器などが飾られ、重量感ある雰囲気となりました。  
この特別展に際し、小松市町内より村上九郎作先生の大獅子三体、山代町和田重太郎先生の遺族から関連作品並びに創校時ゆかりの写真も提供いただき充実した会場となりました。



納富介次郎先生作品



村上九郎作先生作品



和田重太郎先生作品

催事案内

特別展

◎ 高岡銅器 明治期彫金名作展

十二月十七日(日)～  
平成十三年四月一日(日)

常設展

□ 百周年記念寄贈作品及び  
その後の寄贈作品展

十二月十七日(日)～  
平成十三年四月一日(日)

□ 卒業制作展

工芸科・デザイン科の  
卒業制作優秀作品の展示  
平成十三年三月六日(火)～  
四月一日(日)

同窓生ギャラリー

◇ 大村雅章展

洋画・デッサン  
十二月二十三日(土)～  
平成十三年一月十四日(日)

◇ 米納宗宏展

彫塑  
平成十三年一月二十一日(日)～  
二月四日(日)

◇ 一期一会展

デザイン・木工・シルバークラフト・陶芸  
平成十三年二月十一日(祝)～  
二月二十五日(日)

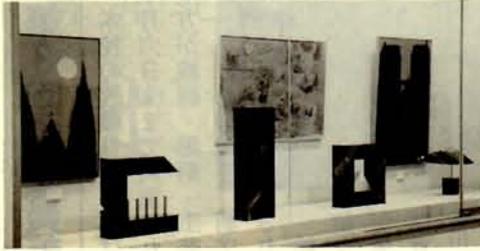
第4回 県立近代美術館移動展報告

青井記念館美術館では、県立近代美術館の協力により平成九年度から毎年、両館の収蔵品を併せて展示する企画展を開催しています。

今回は、「作品の中の動物たち」をテーマとして、日本画、洋画、彫刻、工芸、版画などさまざまな作品約百点を紹介いたしました。

日本画の郷倉千鶴作「春雪」や彫刻の永原廣作「鳥と少年」、漆芸の山崎覚太郎作「鹿」、村田吉生作「春韻」など、いきいきとした動物たちの姿が多様な美術作品の中に表現されて好評でした。

会期 八月九日(水)～九月十九日(火)



同窓生ギャラリー

小西 安治展

—— デザインからアートへ ——

昭和三十二年図案絵画科を卒業された小西安治氏の展覧会が五月十七日(水)より六月四日(日)まで開催されました。

小西氏は卒業後富山市商工奨励館デザイン室に勤め、県内企業のデザイン指導に当たられ、その間グラフィックデザイン・プラスチック・銅・漆器・木工・和紙等の商品開発を手がけられました。

近年、アートの分野に挑戦され、日本画・漆工芸作品など初期から現在までの力作を多数出展していただきました。

又、連日企業の方やファンの方も来館され盛況でした。



所蔵作品紹介

(9)

表紙

「狎」

置物 金工

関

義平

小型の可愛らしい犬が尾を振りふり、吠えて動きそうな親しみある作品である。

一本一本の毛並みの線が波打ち、体全体を覆っている。柔らかな円味ある量感から犬の温りさを感じる原型の的確な表現は見事である。

作品の底辺部の爪先や手足なども徹底した写実的表現である。

参考 四分一蠟型鑄造、彫金仕上げ(素地)

銅高肉象嵌、銅・赤銅平象嵌

金平象嵌、金消し鍍金(文様)

作者紹介

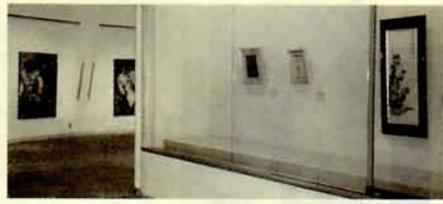
安政四年(一八五七)高岡・鴨島町に生まれる。幼少の頃から彫金の名工白崎善平に師事する。明治十八年二八歳の若さでドイツ金工万国博に出品、更に二二年にはパリ万国博で入賞、二六年シカゴ・コロンプス博で名誉大賞を受賞、二七年内国勸業博で妙技三等賞等々輝かしい功績がある。

明治二八年、本校創立半年後の四月より初代彫金教師となり大正十年八月(六五歳)まで子弟の育成にあたった。

付 退職二年後に没

### 第3回教職員美術展が好評

本校の教職員美術展は九月二十七日(水)より十月六日(金)まで開催されました。二三名の先生方が絵画・彫刻・工芸・クラフト・写真・刻字・篆刻に三八点出品されました。



絵画では墨色美しい清楚な墨絵作品を新納校長が発表、近藤先生(英語)は意欲的に油絵と彫刻を、吉川先生は油絵大作四点象シリーズを、立野先生(家庭)の観音(萌緑)の染色など見応えある会場となりました。

### 第七回青井中美展 迫る

開催期間 平成十二年十一月二十三日(木) ~ 十二月五日(火)

- |                  |    |           |     |    |
|------------------|----|-----------|-----|----|
| 青井大賞             | 一点 | チューリップテレビ | 優秀賞 | 一点 |
| 富山県知事賞           | 一点 | 優良賞       | 二点  |    |
| 富山県教育委員会<br>教育長賞 | 一点 | 富山新聞社優良賞  | 二点  |    |
| 最優秀賞             | 一点 | チューリップテレビ | 優良賞 | 二点 |
| 優秀賞              | 一点 | 佳作        | 十校  |    |
| 富山新聞社優秀賞         | 一点 | 学校奨励賞     | 三校  |    |

### 寄贈作品の紹介



「春焔文手焙」



「唐獅子図」

浅野 廉氏(第八代校長)作

陶磁「春焔文手焙」

昭和十六年応用化学科卒業 安川三郎氏より寄贈

中島 次郎氏(号秋圃)

(創校時より昭和初期までの旧職員)作

日本画「唐獅子図」額装

高岡市内の表具師 出町睦子氏より寄贈

### はぐくみ会会員 募集のおしらせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込まれた日から一年間会員となります。

主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美展)への支援

特典

- 1 企画展等の案内
- 2 はぐくみ会だよりの配布

年会費

- 一般会員(個人) 二、〇〇〇円
- 特別会員(企業、団体等) 一〇、〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

### 新しいCDに人気!!

雅楽とオーケストラとの演奏の素敵な音楽。四月より館内に流れています。併せてプレーヤも新型となりスピーカも2ヶ使って広範囲に効果的です。館内を訪れたお客様から素晴らしいとの感想をよく聞かれます。是非お楽しみ下さい。

### 編集後記

二十世紀最終のはぐくみ会だよりをお届けします。

本校が誕生して一世紀を記念して開催した当美術館も満六周年の間、数々の特別展、企画展、常設展を開催してきました。その間には、同窓生ギャラリーも始まり、卒業生に利用され好評です。現在尚美展関連作品展が開催されていますが、伝統工芸士、現代工芸美術家協会富山・PTA教養講座等の作品展等、より地域に開かれた美術館をめざし、一層努力したいと考えています。

### 編集発行

富山県立高岡工芸高等学校  
青井記念館美術館はぐくみ会  
住所 933-8518 高岡市中川一丁目二〇  
TEL (0766) 211-6330 (内線85)  
FAX (0766) 211-6331

\*青井記念館のホームページを開設しております。  
<http://www4.justnet.ne.jp/~kougei-2/>